

緩和ケア

1. 緩和ケアとは？

緩和ケアとは、“がん”の末期(ターミナル期)だけではなく、がんの診断から治療と同時に痛みやその他の不快な身体的な辛さを和らげ、患者さまとご家族一人ひとりが、自分らしく豊かに過ごすことができるように援助する治療・ケアのことをいいます。

2. 緩和ケアは“チーム”でおこないます

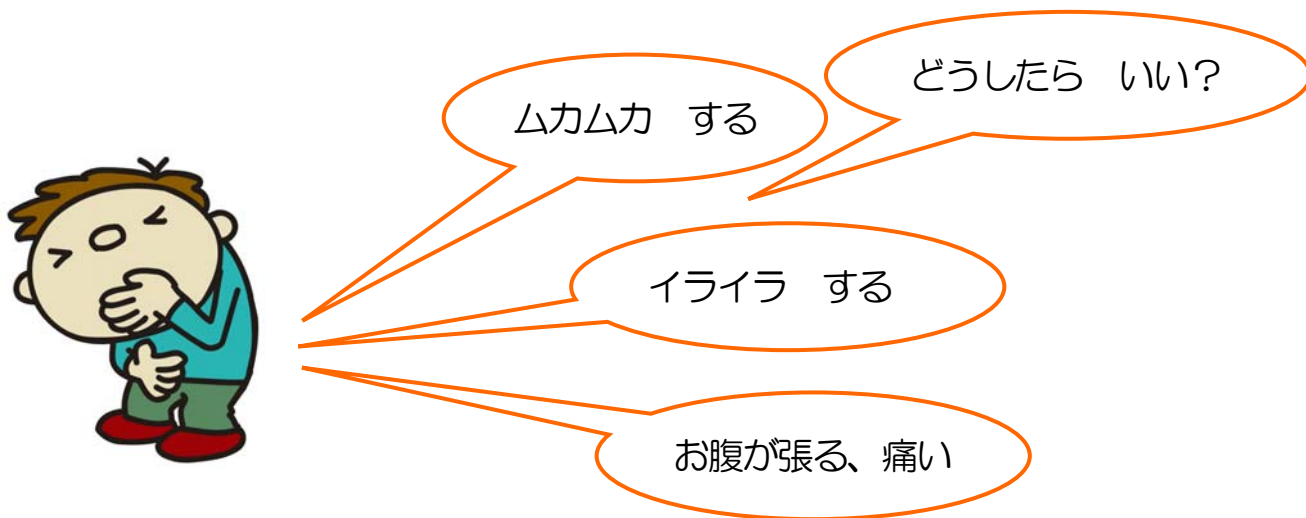
「その人がその人らしく過ごすこと」ができる緩和ケアを提供するために、医師、看護師、薬剤師、栄養士などが、チームとなって、さまざまな視点から患者さまとご家族をサポートし、話し合いをおこないながら、少しでも辛さを和らげるように努力します。

スタッフ構成は、

医師(内科、外科、麻酔科など)や看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、各病棟看護師
リンパマッサージセラピスト、心理カウンセラー

などで構成されています。

活動内容は、鎮痛剤の増量や変更などの提案、からだや心の苦痛症状の緩和、麻薬を使うことに抵抗を感じる患者さまやご家族への説明や薬剤指導、“がん”であることを受け入れられない患者さまやご家族のケアなどとなります。



3. 緩和ケアの相談方法

入院中の患者さまやご家族が対象です。

ご希望の方は、担当医師、看護師にご相談ください。

緩和ケアチーム担当者がご説明に伺います。

毎週、木曜日の午後に緩和ケア外来を予約制でおこなっています。

緩和ケアについて、“気になる”“もう少し知りたい”など担当医師、看護師にご遠慮なくご相談ください。